

## 2. 現状と課題

学芸大学駅周辺地区内は、歩行環境が十分整備されておらず、横断環境が未整備で危険な交差点もあるなど、誰もが安心して歩ける空間の確保が不十分な状況にあります。

「地区整備計画」の推進と併せて、以下に示す交通バリアフリー上の課題を解決する必要があります。

### ■ 鉄道駅及び鉄道高架下施設等（課題 1）

放置自転車をはじめ、駅コンコース出入口部のバリケード、旧百味街及び旧百味街脇通路出入口部の段差、バス通りの鉄道高架脇横断箇所の安全面などの改善。

### ■ 碑文谷公園内施設（課題 2）

公園出入口部の段差や公園内の舗装の凹凸、園内の誘導、碑文谷体育館内の移動困難などの改善。

### ■ 鷹番小学校及び鷹番住区センターなど、主要な施設（課題 3）

施設出入口部の段差などの改善。

### ■ 交差点（主要な施設周辺、主要な道路の横断環境）（課題 4）

地区内の骨格道路（碑文谷公園通り、鷹番通り、バス通り、唐ヶ崎通り等）の横断箇所の安全性をはじめ、将来における補助 26 号線の整備に伴う横断環境の整備・改善。

### ■ 主要な道路の歩行空間等（課題 5）

商店街における歩行の障害物の解消や地区内の骨格道路（碑文谷公園通り、鷹番通り、バス通り、唐ヶ崎通り等）など交通量のある道での歩行者の安全性確保、鷹番小学校通学路の段差などの改善。

### ■ その他施設（課題 6）

児童遊園出入口部の段差・バリケードなどの改善。